

にちにちこれこうじつ 日々是好日



群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 8月31日
校長だより No. 12

私は小学校で教員をしていたので、夏休みは水泳記録会の練習、マーチング練習、夏休み勉強塾（学校開放しての宿題指導）、臨海学校と、予定が目白押しでした。理科専科となった年は、これに自由研究の相談会や理科実験会などもしっていたので、毎日学校にいました。コロナ禍を経て、今ではプール指導がなくなり、夏休みの過ごし方もだいぶ変わりました。猛暑となった今年は、大人も子供も大変でしたね。

群馬県人の多くは上毛カルタに馴染んでいることでしょう。また地域の郷土カルタを持つ学校もあり、赴任先がかわるごとに、新しいカルタを覚えるのは一苦労です。何せどこのことを言っているのかわかりません。そこで、実際に絵札の場所に行ってみることにしています。

「菱町歴史・文化マップ」を基に、7つのエリアを攻略しようと計画を立てたのですが、どのコースも4キロから7キロあります。おまけに猛暑。歩いて回るのは早々にあきらめました。中学部の2年生が一学期に15か所まわっていたので、それ以上をまわりたいのですが、涼しくなってからにします。取り組みの様子は、これから校長だよりで時々紹介します。

今回は手始めに、【た】から紹介します。

「多行松 児童とともに 百余年」

平成9年にカルタが制作された段階では百余年でしたが、菱小は今年で開校150周年。9月には記念行事が行われます。その記念事業の一つとして、150人分のポリオワクチンを寄付する「ペットボトルキャップチャレンジ」に取り組んでいるそうです。本校でも協力したいと思っています。ご協力いただける方は、ペットボトルキャップをお子さんにもたせてください。なにしろ65万個以上集めなければならないので、記念行事のある9月以降も集め続けるそうです。



菱小学校の読み札は多行松。「タギョウ」とは根元付近から生じる多くの幹を表しています。頂部は傘を広げたような形になっています。道路沿いに見られるので、お近くに寄られたときに見てください。複雑な樹形の松を見つけられます。

※写真にある看板横の松は多行松ではありません。

続いて、【の】を紹介します。

「登り口 いろいろ菱山 ハイキング」

菱のハイキングコースは、地元の人たちが中心となって、昭和51年頃に整備されたそうです。

文昌寺口、普門寺口、泉龍院口と、様々なアプローチができます。本校では、四季折々で、菱の山に親しんでいます。秋は家族で山登りに挑戦してみたいかながでしょう。



吾妻で行われた研修会
に参加してきました

夏休みに、特別支援学校長会の研修で、A型事業所「ぼこ・あ・ぼこ」を経営される中曽根良雄さんの講演と、会場となった吾妻特別支援学校高等部の施設見学に参加しました。講師の中曽根さんは、特別支援学級や特別支援学校で教職経験を重ね、退職後にA型事業所の経営をまかされました。教員として、そして事業主として、両方の立場からお話を伺うことができました。PTAの施設見学でもA型事業所を訪れましたが、売り上げから利用者さんとスタッフのお給料を払い、事業を継続していくには大変な苦労があるようです。現在は地域素材を生かし、竹細工、薪、スエーデントーチ、さらには一人キャンプ用のコンロなどを生産しています。それらを道の駅やインターネットで販売されているということでした。竹細工は、利用者の方が自己表現しながら製品として販売することができるものとして商品化したもの。一人キャンプ用のコンロなどは、時代のニーズに合わせての商品だそうです。講師の方からは、自己表現する力が生涯にわたって大切であるとお話をいただきました。

吾妻特別支援学校高等部は、小・中学部とは少し離れた吾妻高校の跡地に建設されています。体育館施設は高校仕様で広く、校舎は特別支援学校の生徒向けに新たに作られたものなので、とても施設設備が充実していました。どの学年も一クラスずつなので、新しい校舎を広々と使っているようです。最寄りの群馬原町駅まで徒歩で数分という好立地でした。

二学期が始まりました。子供たちもお家の方も、普段の学校生活に戻ることを待ち望んでいたことと思います。「きりとくだより」の挨拶文にも書きましたが、運動会、特体連、学校間交流、小学部修学旅行、持久走大会と、行事が連なるのが二学期。一つ一つの行事を通して達成感を得ていくことで、子供たちは成長していくことでしょう。楽しみですね。